

保護者向け啓発リーフレット(11月)

《LINEの18歳未満のユーザーに対する利用制限について》

北海道教育委員会

ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

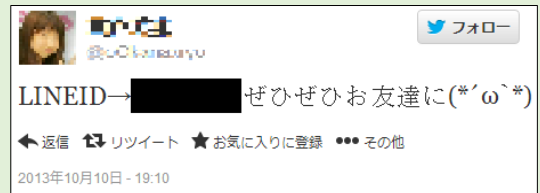
利用制限について

LINE株式会社は、子どもが性犯罪などに巻き込まれる可能性が指摘されている「ID検索」機能を、今年の9月から、18歳未満のLINE利用者が使えないように制限を設けました。auのスマートフォン(Android端末)は、昨年末にすでにこの制限を取り入れていましたが、今回、ドコモ、ソフトバンクのスマートフォン(Android端末)にも同様の制限が実施されることになり、主要携帯電話会社3社で対応の足並みがそろったこととなります。

※ iPhoneは2013年10月時点では制限の対象外です。

■ID検索とは？

ID検索を使うと、相手の電話番号を知らなくてもIDさえわかればLINEでやり取りができるようになります。未成年のユーザーがネット上に自分のIDを公開して、それを見つけた見知らぬ人とLINEで知り合い、トラブルに発展するというケースが問題になっています。



TwitterでIDを投稿してしまっているケース

今回の利用制限の効果

今回の制限で18歳未満のユーザーはIDを公開することがなくなり、同時に大人がLINEの検索機能を使って18歳未満のユーザーを探ることができなくなります。これによってLINEを介した出会いを目的とした大人からの被害をある程度防止することができます。しかし、LINEにはID検索の他に、「QRコードの読み取りによる友だち追加」という機能があります。このQRコードの画像をネット上に載せれば、ID検索を使わなくても見知らぬ人とやり取りができるようになってしまいます。QRコードをわざわざ画像にして投稿するのは手間なので、「手軽に」というわけにはいきませんが、このような抜け道が残っていることを知っておく必要があります。

■QRコードの読み取りとは？

右の画像に写っている四角いバーコードのようなものがQRコードです。これをスマートフォンのカメラで撮影すると、そのQRコードに対応した文字列やURLを入手することができます。LINEのQRコードを撮影すると、相手のユーザーが自分のLINE上に表示されます。QRコードの画像を保存すれば、カメラを使わなくてもLINE上でQRコードを読み取ることもできます。



QRコードによる連絡方法が残されているとはいえ、今回のID検索の制限は18歳未満のユーザーの安易なID公開を防ぐという点で一定の効果は期待できるでしょう。LINEは正しく使えばとても便利なツールです。子どもたちが正しく安全に使えるように、まずは保護者がLINEの問題点を理解しておきましょう。